

※以下のページ番号は、資料2（令和5年度当初予算のポイント）の該当ページを示しています。

1. 未来を担う子どもたちを守り育てる ※別紙1（「みえ子どもまるごと支援パッケージ」）

[R4：144億円→R5：166億円（対前年度比22億円（16%））増]

（1）出逢いの支援・ライフプラン教育の充実（P.13）

- (a) 結婚応援サポーターの養成・認定、結婚を希望する人同士の引き合わせ

（2）妊娠・出産・子育てに対する支援（P.14）

- (a) 市町の創意工夫で活用可能な県独自の補助制度の新設

（3）子ども医療費助成など、子育て家庭への支援（P.14）

- (a) 未就学児の現物給付に係る所得制限（児童扶養手当基準）の廃止

（4）待機児童の解消、保育士等の確保・処遇改善（P.14）

- (a) 保育士資格取得のための修学資金貸付の対象人数を拡充、保育補助者等の配置を支援
(b) 私立保育所等への保育士を追加配置した場合の補助を拡充

（5）子どもの貧困対策・貧困の連鎖の解消（P.15）

- (a) 飲食店による「子ども食堂」の新規参入と継続運営のモデル構築
(b) 生活困窮家庭の子どもへの学習支援の取組を拡充

（6）ヤングケアラーへの支援（P.15）

- (a) フォーラムや出前講座による理解促進、ヤングケアラーへの家事援助等に対する支援

（7）児童福祉施設の計画的な整備（P.16） ※今後も老朽化した施設を計画的に更新

- (a) 老朽化が進む国児学園の寮舎の建替え

（8）いじめ対策の推進（P.16）

- (a) いじめ防止の道德教育やいじめ情報のデジタル化・アドバイザーの派遣等による正確な認知と適切な対応

（9）不登校児童生徒への支援の充実（P.16）

- (a) 不登校総合支援センターの新設、高校段階の生徒への支援を行う新たな県立教育支援センターの設置

（10）教育の推進（P.17～19）

- (a) 小中学校における少人数教育や、社会で求められる資質・能力を育む高校での学びの推進
(b) 休日部活動の地域移行等と教職員の働き方改革の推進

2. 県民のいのちを守る

[R4：1,335億円→R5：1,417億円（対前年度比82億円（6%））増]

（1）地域防災力の向上（P.20） ※別紙2（津波避難対策）

- (a) 一時避難場所（津波避難タワー）や避難路の整備等、津波避難計画の実効性向上に向けた市町の取組を支援
(b) 消防団への入団促進のため、県内市町への水平展開が見込めるモデル的な取組を支援

（2）医師の確保（P.23）

- (a) 麻酔科医確保に向け、医学生のカリキュラム改善や研修医向けプログラムの啓発等を支援

（3）がん対策（P.24）

- (a) 手術支援ロボットによるがん手術の遠隔指導のための通信環境の整備を行う病院を支援
(b) がん治療に伴い外見に変化が生じた患者に対して、医療用ウィッグや補正用下着等の購入を支援

5. 誰もが暮らしやすい社会をつくる

[R4：369億円→R5：399億円（対前年度比30億円（8%））増]

（1）福祉の促進（P.44）

- (a) ひきこもりに関する正しい理解を深めるため、セミナーの開催等による普及啓発・情報発信を強化
(b) 駅舎のバリアフリー化（段差解消、ICカードシステム導入等）及びUDタクシー購入に対する支援

（2）文化・スポーツの推進（P.45）

- (a) 斎宮を核とした文化体験ルートを設定し、文化についての理解を深める機会の創出
(b) 「第3次三重県スポーツ推進計画（仮称）」に基づき、スポーツにふれ親しむ環境づくりやスポーツによるまちづくり等を推進

3. 賑わいのある観光を取り戻す

[R4：28億円→R5：32億円（対前年度比4億円（15%））増]

（1）拠点滞在型観光の推進（P.25～26）

- (a) 魅力ある観光資源を生かした周遊ルートの構築に向けた基盤整備に取り組む地域を支援
(b) 「三重ならではの」特別感のある体験型コンテンツの磨き上げなどにより県内での滞在を促進
(c) 意欲あるDMOを対象に人材や財源の確保に向けたコンサルティングを行い、DMOの司令塔機能を強化
(d) 熊野古道伊勢路の「歩き旅」を安全に楽しめるよう案内標識整備を支援・山歩きアプリを活用
(e) 東紀州地域ヘランニング人口等を誘致する手法等の調査を実施
(f) 熊野古道世界遺産登録20周年に向けた和歌山県、奈良県との広域連携による情報発信

（2）観光プロモーションによる発信力の強化と観光需要の喚起（P.27～28）

- (a) 主要駅での交通広告やSNSなど多様な媒体を活用した魅力発信等の戦略的なプロモーションを実施
(b) 「みえの食」の魅力を大勢の集客が期待できる施設等において観光情報と合わせて発信
(c) G7交通大臣会合の開催に合わせ、首都圏においてガストロノミーの観点から観光誘客を促進

（3）インバウンド誘客の取組（P.29）

- (a) 海外から高付加価値旅行者層の誘致を進めるためのプロモーションを実施

4. 時代の変化に対応し三重の産業を振興する

[R4：353億円→R5：392億円（対前年度比39億円（11%））増]

（1）農林水産業の振興（P.30）

- (a) 農業法人等の合併・統合・事業承継により、農業経営の集約化を促進
(b) 飼料の自給体制の構築に向け、飼料用トウモロコシの生産や米ぬかなどを原料とする飼料の利用を推進
(c) 黒ノリ養殖の色落ち被害の深刻化に対応し、施肥による色調改善・生育促進の実証研究を実施
(d) 付加価値が高い、アニサキスフリーで安全・安心なマサバの養殖技術を開発

（2）県産農林水産物の売り込み（P.31）

- (a) 食品見本市への出展などを通じ、県産ブランド和牛の海外におけるサプライチェーンの構築を推進
(b) 県産材の利用拡大に向け、木造非住宅建築物の設計支援や県産材を活用した建築物コンクールを実施
(c) 大都市圏の量販店で県産水産物フェアを実施するなど、県産水産物のサプライチェーンの構築を推進

（3）半導体産業への投資促進（P.32）

- (a) 関連企業と高等教育機関、行政で「みえ半導体ネットワーク（仮称）」を設立し、人材育成や共同研究、企業支援

（4）スタートアップ、中小企業・小規模企業の経営改善への支援（P.33） ※別紙3（スタートアップ支援）

- (a) 県独自のスタートアップ支援体制を構築～Mie Next Innovators Challenge～

（5）カーボンニュートラル（P.34～35）

- (a) E/V化等の影響を受ける県内自動車部品サプライヤーの業態転換、CO2排出量削減等を支援
(b) 水素等の需要ポテンシャルを調査し、四日市市、四日市港等と連携しながらサプライチェーン構築を検討
(c) 洋上風力発電事業に関心のある地域に対し、先進事例など必要な情報の収集・提供を実施
(d) J-クレジットの活用推進など、CO2吸収機能を有する森林の付加価値を高めるための林業GXを推進

6. 人口減少対策に取り組み選ばれる三重をつくる

[R4：105億円→R5：120億円（対前年度比16億円（15%））増]

（1）自然減対策（P.46）

- (a) 県民の皆さんの結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなうよう取組を推進

（2）社会減対策（P.47）

- (a) 移住促進に向けた「関西圏・中京圏」への情報発信の強化、SNSを活用したオープンな情報発信・交流の場の創出

（3）人口減少対策の総合的な推進（P.47）

- (a) 人口減少の著しい南部地域に「人口減少対策広域コーディネーター（仮称）」を設置
(b) 効果的な対策につなげるため、人口減少にかかる調査・分析を実施